

第1日目 3月19日 (土) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
9:00	シンポジウムS1 (公開) 世界地誌学習の新たな方向性 —中国地誌をどうとらえるか—	シンポジウムS2 (公開) 伊能図を検証する —伊能忠敬の地図作製—
9:20	[オーガナイザー] 田部俊充 (日本女子大)・ 本木弘梯 (早稲田大高等学院)・上野和彦 (東 京学芸大・名誉)	[オーガナイザー] 平井松午 (徳島大・名誉)・ 小田匡保 (駒澤大)
	開始時刻 9:00	開始時刻 9:00
9:40	S101 9:00-9:20 田部俊充* (日本女子大)・郭明 (東京 家政大・非常勤)：世界地誌学習の新たな 方向性—中国地誌をどうとらえるか	S201 9:00-9:20 平井松午 (徳島大・名誉)：伊能図の地 図仕立てを検証する
10:00	S102 9:20-9:40 本木弘梯* (早稲田大高等学院)・上野 和彦 (東京学芸大・名誉)：「これか ら」の中国地誌学習を考える—学習教材 の検討と授業の視点	S202 9:20-9:40 佐藤賢一 (電気通信大)：会田安明著 『天文簡要論』にみる伊能忠敬の測量
10:20	S103 9:40-10:00 澤田康徳 (東京学芸大)：中国地誌学習に 関する自然地理的内容の扱いの検討—日 中の中学校地理教科書の分析を通して	S203 9:40-10:00 塚本章宏 (徳島大)：高精細画像とGIS を援用した伊能図の針穴と作図水準の比 較分析
10:40	S104 10:00-10:20 張 貴民 (愛媛大)：食料産地の地域分布 から中国地誌を学ぶ	S204 10:00-10:20 酒井一輔 (聖心女子大)：「沿海地図」 から「沿海輿地全図」へ—伊能中図「総 合図」の比較分析
11:00	S105 10:20-10:40 小野寺 淳 (横浜市立大)：近年の中国の 動向と地誌学習	S205 10:20-10:40 小田匡保 (駒澤大)：伊能図の記号凡例
	[休憩] 10:40~10:50	[休憩] 10:40~10:50
11:20	S106 10:50-11:10 竹内裕一 (千葉大・名誉)：総括・世界 地誌学習の新たな方向性—中国地誌学習 に着目して	S206 10:50-11:10 地主智彦 (文化庁)：伊能図と料紙
	[休憩] 11:10~11:30	S207 11:10-11:30 島津美子 (国立歴史民俗博)：伊能図の 彩色材料と彩色技法
11:40	[総合討論] 11:10-11:45 [挨拶・次回予告] 11:45-12:00 終了時刻 12:00	[総合討論] 11:30-12:00 [司会] 小田匡保 (駒澤大) 終了時刻 12:00
12:00	昼 休 み	

第1日目 3月19日 (土) 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p>〈農業・農村〉</p> <p>301 小野寺美咲（金沢大・院）：非経済的な動機に着目した高齢者による小規模農業の維持要因</p> <p>302 佐藤たまお（東京大・学）：都市近郊農業への新規参入者の就農プロセスにおける支援制度の役割と課題—埼玉県所沢市を事例に</p> <p>303 木村美月*（東京農工大・学）・観山恵理子（東京農工大）：農産物の地域ブランド構造に関する研究—狭山茶とかごしま茶を事例として</p> <p>304 若本啓子（宇都宮大）：和牛子牛生産における集団的学習と戦略的連携—「とちぎの和牛を考える会」を中心に</p>	<p>〈地図・GIS〉</p> <p>405 Liu, F.* and Masago, Y. (National Institute for Environmental Studies) : Characterizing spatial differences in climate change impacts for cross-sectoral adaptation strategies in Japan</p> <p>406 西川穂波（北海道大・院）ほか：知床世界自然遺産における海岸漂着物に関する研究</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p>
<p>〈人口・行動〉</p> <p>307 中山研一朗（立教大・院）ほか：都道府県別出生率の比較および背景要因の推定</p> <p>308 佐藤 将（東京外国語大）：東京大都市圏における3人以上の子どもを持つ世帯の動向調査</p> <p>309 牧野紘己*（早稲田大・学）・山内昌和（早稲田大）：人口移動が日本の人口分布と人口構造に与えた影響—2005年SSM調査を用いた分析</p>	<p>407 柳澤英明*・宮城豊彦（東北学院大）：低価格Lidarを用いた簡易3Dスキャナーによるマングローブ測量システムの開発と精度検証</p> <p>408 伊藤 航（大阪市立大・学）ほか：空間的・時間的視点からみたAEDのアクセシビリティの評価</p> <p>409 于 燕楠（都立大・院）ほか：オープンデータを活用した心霊スポットの分布傾向分析</p>	<p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p>
<p>昼 休 み</p>		<p>12:00</p>

第1日目 3月19日 (土) 午前

開始時刻	第 5 会 場	
	<気候>	
9:00	501 安藤奏音 (学振PD・東京大) : 秋芳洞内の小気候による観光客への健康影響と今後の管理方法	
9:20	502 中村祐輔 (筑波大) ほか: 都市街区における日傘と帽子的熱ストレス緩和効果	
9:40	503 鎌田 碧* (筑波大・院) ・日下博幸 (筑波大) : 都市街区気象LESモデルを使用したオフィス街と住宅街の暑熱要因比較解析	
10:00	504 中川清隆*・渡来 靖 (立正大) : プルーフ型都市ヒートアイランドは強制振動加熱による共振か?	
10:20	505 ドアン グアンヴァン*・日下博幸 (筑波大) : 地球温暖化が都市豪雨に及ぼす影響	
10:40	506 日下博幸 (筑波大) ほか: チュオンソン山脈フェーンがベトナム北中部の高温に与える影響	
11:00	507 小林 峻 (筑波大・院) ほか: ナイジェリア・ラゴスの都市化が極端降水に与える影響	
11:20	508 鈴木信康 (筑波大・院) ほか: 東海～関東に発生する地形性筋状雲の気候学的特徴	
11:40	509 小野寺 平* (筑波大・院) ・日下博幸 (筑波大) : 高時間・空間分解能での独自地上観測から判明した清川だしの吹走範囲	
12:00		
	昼 休 み	

第1日目 3月19日(土) 午後

第 1 会 場	第 2 会 場	開始時刻
シンポジウム S3 (公開) 災害・防災について地理学は何を 教えるのか — 一小・中・高の防災教育リレーを考える—		13:00
[オーガナイザー] 前田洋介 (新潟大) ・ 大西 宏治 (富山大) ・ 森田匡俊 (岐阜聖徳学園大) ・ 井田仁康 (筑波大) ・ 鈴木康弘 (名古屋大)		13:20
開始時刻 13:00		13:40
S301 13:00-13:10 前田洋介 (新潟大) ほか：災害・防災に ついて地理学は何を教えるのか—小・ 中・高の防災教育リレーを考える	<地形>	
S302 13:10-13:30 井田仁康 (筑波大)：社会科教育、地理 教育、防災教育の違いと接点	213 木村 颯 (九州大・院) ほか：石灰洞に おけるアラゴナイト鍾乳石の生成要因— 広島県帝釈峡「幻の鍾乳洞」の例	14:00
S303 13:30-13:50 山内洋美 (宮城県仙台西高)：高等学校「 地理総合」につながる中学校社会科「地理 的分野」の防災に係わる学習とは	214 佐野 亘* (九州大・院) ・ 菅 浩伸 (九州 大)：石垣島名蔵湾の海草藻場による 赤土の捕集作用	14:20
S304 13:50-14:10 小野映介 (駒澤大)：小学校社会科の学 習内容に含まれる防災教育的要素	215 菅 浩伸 (九州大) ほか：福岡県茶屋大 門の玄武岩海食崖沖に発達する海食台地 形	14:40
S305 14:10-14:30 大西宏治 (富山大)：小学校における防 災教育のカリキュラム上の位置づけと留 意点	216 西川聖哲 (和歌山大・学)： Geodiversity的観点からみた国立公園の 動的自然景観と観光資源に対する人々の 認識—中部山岳国立公園・上高地を事例 に	15:00
S306 14:30-14:50 志村 喬 (上越教育大)：「地理総合」時 代の大学教育における教員養成の課題	217 Chakraborty, A. (Wakayama Univ.)： Relationship between natural disturbance regimes and landscape diversity in mountain regions and lessons for nature conservation	15:20
S307 14:50-15:10 由井義通* (広島大) ・ 熊原康博 (広島 大)：大学の防災教育・地理学教育は今 後どうあるべきか	218 大貫靖浩 (森林総合研) ほか：ブナ林 土壌の保水機能の定量的評価—安比高 原・胆沢川上流部・森吉山麓高原におけ る比較研究：第1報	15:40
[休憩] 15:10-15:20 [総合討論] 15:20-16:20 [総括コメント] 16:20-16:30 鈴木康弘 (名古屋大)		16:00
終了時刻 16:30		16:20
会長講演 16:45		16:40
表彰式 17:30		17:00

第1日目 3月19日 (土) 午後

開始時刻	第 3 会 場	第 4 会 場
	〈人口・行動〉	〈歴史・文化〉
13:00	310 野村侑平 (東京大・院) : 「国勢調査報告」と「在留外国人統計」における外国人人口の乖離とその要因	410 府和正一郎 : 石川県主要神社の野外寄進物
13:20	311 藤 媛媛 (東北大) ほか : 在日外国人の集住と社会的統合—インターネット調査の結果を用いて	411 松本裕行 (大阪教育大附属高平野校舎) : 国土地理院電子地図における戦前期空中写真の特性—1942年「大阪市航空写真」の活用について
13:40	312 丁 茹楠 (熊北大・院) : 九州の中国人留学生における就職に伴う地域的移動と地方圏残留要因	412 小田匡保 (駒澤大) : 京都大学附属図書館所蔵の伊能図
14:00	313 石井久美子 (筑波大・院) : 地域の労働市場における工業高等専門学校がもたらす役割—茨城工業高等専門学校を事例に	413 竹内祥一朗 (京都府立大・院) : 大和郡山城下町周縁における金魚養殖の変遷史
14:20	314 綱川雄大 (明治大・院) : 高度熟練労働者の超郊外へのライフスタイル移住とその意味—長野県・軽井沢の事例	414 横川知司 (広島大・院) : 小正月の伝統行事トンドの開催時刻の変化—東広島市西条町を事例に
14:40	315 佐藤裕哉 (下関市立大) : 富山県における若者のライフコースとその形成要因—地域産業教育の影響に着目して	415 岩月健吾 (名古屋大・院) : 横浜市のクモ相撲「ホンチ遊び」にみる人間と自然との関係
15:00	316 伊藤智樹 (都立三鷹中等教育学校) : 広島県呉市豊町御手洗における地域づくりに参画する関係人口に関する研究	〈海外地域研究・地誌〉
15:20	317 住吉康大 (東京大・院) : 移動生活の途上における場所感覚の研究に向けて—「アドレスホッパー」はどこに住んでいるのか?	416 日野正輝 (東北大・名譽) ほか : 2014年人口・住宅センサスからみたヤンゴンの居住分化
15:40	318 中澤高志 (明治大) : コロナ禍における市区町村別テレワーカー率の推計	417 何 晨 (茨城キリスト教大・非常勤) : 北京旧城におけるアーバン・リニューアルの現状と住民構成の変化
16:00		418 宇野広樹 (筑波大・院) : バンコク都市圏におけるホテルの立地傾向とその要因
16:20		419 渡辺 和之 (阪南大) : 国境を越える家畜—インド・バングラデシュ国境における牛交易
16:40		420 宋 苑瑞 (早稲田大・非常勤) ほか : 米国カリフォルニア州における近年の干ばつと農産物輸出による仮想水の移動
17:00		

第1日目 3月19日（土） 午後

第 5 会 場	開始時刻
<p>〈気候〉</p> <p>510 工藤達貴*（筑波大・院）・日下博幸（筑波大）：生保内だしの気候学的特徴</p> <p>511 浅野裕樹*（筑波大・院）・日下博幸（筑波大）：山形県で発生した白穂に対するフェーンの影響</p> <p>512 西場 慧*（筑波大・院）・日下博幸（筑波大）：富山フェーンの吹き始めに対する海風と風上の大気安定度の影響</p> <p>513 平野淳平（帝京大）：多摩丘陵における「日向」・「日影」地名の分布について</p> <p>514 三上岳彦（都立大）ほか：日記天候記録と気象データによる過去320年間の気温変動復元</p> <p>515 市野美夏（ROIS-DS-CODH）ほか：古天候を利用した天保期の推定日射量分布の変動</p> <p>516 久保田尚之（北海道大）ほか：オランダ軍艦の航海日誌に基づいて推定した安政江戸台風の大きさ</p> <p>517 井上 誠（秋田県立大）ほか：チベット高気圧と北太平洋高気圧が日本の暑夏・冷夏の発生に及ぼす影響</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>

第2日目 3月20日 (日) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
9:00		<p>〈地形〉</p> <p>231 大内俊二：実験地形の収束的発達について</p>
9:20		<p>232 瀧ヶ崎愛理*（新潟大・学）・奈良間千之（新潟大）：飛弾山脈，杓子岳北カルにおける永久凍土分布可能性の評価</p>
9:40		<p>233 深田愛理*（新潟大・院）・奈良間千之（新潟大）：白馬連山における周氷河性平滑斜面での礫の移動</p>
10:00		<p>234 杉山博崇（新潟大・学振DC）ほか：飛弾山脈北部，白馬大雪渓周辺における岩盤斜面の地形変化</p>
10:20		<p>235 有江賢志朗*（新潟大・学振DC）・奈良間千之（新潟大）：飛驒山脈北部において氷河・多年性雪渓が形成される地形の特徴</p>
10:40		<p>236 八反地 剛（筑波大）ほか：谷頭凹地の埋積速度に対する中世以降の人間活動の影響—広島県広島市・山口県防府市の事例</p>
11:00		<p>237 木村恵樹*（専修大・院）・荻谷愛彦（専修大）：大谷崩壊物質による堰き止め湖堆積物—安倍川左支タチ沢での発見と意義</p>
11:20		<p>238 山中 蛭*（広島大・院）・後藤秀昭（広島大）：糸魚川-静岡構造線活断層系白州断層の変位地形と活動履歴</p>
11:40		<p>239 竹本仁美（広島大）ほか：長野県神城断層近傍における最終氷期以降の堆積環境の復元</p>
12:00		<p>昼 休 み</p>

第2日目 3月20日(日) 午前

第3会場		第4会場		開始時刻
〈経済・産業〉		〈地理教育〉		
331	芥川穂高(都立大・院)ほか:地理的な要因に着目した食品eコマース利用者の特徴	431	陳乙萱(横浜国立大・院):社会正義に向けた地理教育—ジオ・ケイバビリティズの理論的考察	9:00
332	上村博昭(尚美学園大):島根県隠岐諸島における流通システムの変容	432	山口幸男(群馬大・名誉):ソ連解体と地理教科書記述の変化—イデオロギーの転換と教育指導のあり方	9:20
333	秦洋二(流通科学大):木材産地と製品加工における地域間分業の変化—吉野杉を事例に	433	阪上弘彬(千葉大):ドイツ中等社会科教科書における単元「気候変動」の特質—防災学習の視点からの分析	9:40
334	新見祐樹(島根大):縁辺地域における地域金融機関の店舗展開	434	栗栖悠貴(国土地理院)ほか:地理教育の充実に向けた国土地理院による教科書・教材会社への支援	10:00
335	平篤志*(香川大)・シュルンツェロルフ(立命館大):Management geography(経営地理学)の可能性—アジア,特に日本とその周辺地域に着目して	435	森田泰史(大阪大・院):高等学校地理教育における地理情報の位置づけ—その変遷と展望	10:20
336	原真志(香川大):羅生門的世界の地理学—地域活性化におけるマルチパースペクティブな語りの可能性	436	神宮公平(鹿児島県立徳之島高):「地理総合」に向けた「国際理解と国際協力」の単元における授業実践—関係構造図・イメージマップを用いた東南アジア・アフリカの比較地誌	10:40
〈地域計画・地域政策〉		〈観光〉		
337	佐藤洋(東京大・学振DC):東京大都市圏における地方財政への認識と政策的対応の空間構造—134市町村へのアンケート調査から	437	杜国慶*(立教大)・康乃馨(立教大・院):ユーザ生成コンテンツに見る訪日中国人観光者の飲食選好の空間構造—東京23区を事例として	11:00
338	畠山輝雄(鳴門教育大):地域包括ケアシステムにおける「地域」とは何か?	438	飯塚遼(帝京大)ほか:西オーストラリア州パース都市圏における複合的ペバリッジ・ツーリズムの共生と発展	11:20
339	三原昌巳(昭和女子大)ほか:地方総合病院における医療従事者確保の動向—上越および北信医療圏の事例	439	西村美樹*・原真志(香川大):感動体験を提供するジオフードの試み—小豆島を中心としたFAMツアーを事例に	11:40
昼 休 み				12:00

第2日目 3月20日 (日) 午前

開始時刻	第 5 会 場	
	〈水文〉	
9:00	531	丁 曼卉* (北海道大・院)・白岩孝行 (北海道大) : 別寒辺牛川流域の潮間帯における淡水流出量の推算
9:20	532	Shi, M.* (Hokkaido Univ., Grad. Student) and Shiraiwa, T. (Hokkaido Univ.) : Hydrological zoning of rivers basins in the Kamchatka Peninsula
9:40	533	小室 隆 (港空研) ほか : sedaDNAを用いた宍道湖における過去の車軸藻類の復元
10:00	534	苗村晶彦 (戸板女子短大) ほか : 岡山県高梁川上流域周辺におけるNO _x の二次物質
10:20	535	中村友美 (駒澤大・院) ほか : 石垣島白保地区における地下水の水位変動と水質特性
10:40	536	小寺浩二 (法政大) ほか : 佐渡島の水環境の特性と活用に関する水文地理学的研究
11:00	537	小田理人* (法政大・学)・小寺浩二 (法政大) : 多摩川水系浅川の水質に関する水文地理学的研究 (4)
11:20	538	山形えり奈* (法政大・院)・小寺浩二 (法政大) : 最上川流域の水環境に関する研究 (1)
11:40	539	森本 洋一* (朝日航洋)・小寺浩二 (法政大) : 流域誌の作成を念頭に置いた流域環境情報の整理手法の一提案
12:00	昼 休 み	

第2日目 3月20日(日) 午後

第 1 会 場	第 2 会 場	開始時刻
シンポジウム S4 (公開) 日露協働によるシベリアの 環境変化研究	<地形> 240 岩佐佳哉 (広島大・学振DC) ほか: SLAM技術を用いた低価格3Dスキャナー による地表地震断層の数値標高モデルの 作成	13:00
[オーガナイザー] 飯島慈裕 (三重大)・松山 洋 (都立大)	241 小松原 琢*・佐藤善輝 (産業技術総合 研) : 地理院地図のDEMを用いた厚い 沖積層下の伏在活構造の検出	13:20
開始時刻 13:00 13:00-13:05 松山 洋 (東京都立大) : 趣旨説明	242 中田 高 (広島大・名誉) ほか: 変動地 形学的手法によって認定された中国の活 断層に関する新発見一予察	13:40
S401 13:05-13:23 渡邊貴典(都立大)ほか: 西シベリアにお ける極端現象指標の長期トレンド	<災害> 243 黒木貴一 (関西大) : 筑後川下流域の神 社奉納物による自然災害範囲の推定	14:00
S402 13:23-13:41 根元裕樹 (都立大) ほか: 洪水氾濫シ ミュレーションを用いたトムスク市街地 におけるアイスジャム洪水の推定	244 劉 源* (熊本大・院)・鹿嶋 洋 (熊本 大) : 熊本県益城町における災害公営住 宅の生活利便性	14:20
S403 13:41-13:59 中山大地(都立大)ほか: ロシア・トムスク地 域における2000年以降の土地被覆変化	245 藏田典子* (京都大・学振DC)・友尻大 幹 (京都大) : 日本での福島第一原発 事故における避難者に関する研究動向	14:40
S404 13:59-14:17 稲垣京佑 (都立大・学) ほか: 河川氾濫 時の避難行動シミュレーションーロシ ア・トムスク市を事例に	246 岩船昌起 (鹿児島大) : 奄美大島宇検村 における台風高潮時の避難対象の検討ー 全住民避難計画の基礎資料	15:00
S405 14:17-14:35 川東正幸* (都立大)・Prokushkin, A. (Sukachev森林研) : シベリアのタイ ガ林を流れる河川中溶存成分の動態から 見た環境変動		
S406 14:45-15:03 飯島慈裕(三重大)ほか: ロシア北極域に おける気候変化と永久凍土環境変化		15:20
S407 15:03-15:21 齋藤 仁 (関東学院大) ほか: 植生指標を 用いたサーモカルストの予察的検出ー東 シベリアを対象として		15:40
S408 15:21-15:39 朴 昊澤 (海洋研究開発機構) ほか: 北極 陸域における水循環の成分分離		16:00
S409 15:39-15:57 桐村 喬(皇學館大)ほか: 2010年以降の ロシア・サハ共和国における人口増加		16:20
S410 15:57-16:15 藤岡悠一郎 (九州大) ほか: 東シベリア における環境変化に関する地域住民の認 識と差異		16:40
[コメント] 16:15-16:25 大石侑香(神戸大) [総合討論] 16:25-17:00		
終了時刻 17:00		17:00

第2日目 3月20日 (日) 午後

開始時刻	第 3 会 場	第 4 会 場
	〈経済・産業〉	〈地理教育〉
13:00	340 森 泰規 (博報堂) : 文化資本は地理的に偏在するののか	440 谷本 涼* (学振PD・東北大)・埴淵知哉 (東北大) : アクセシビリティの総体的感覚とウォーカビリティ指標の関係
13:20	341 和田 崇 (県立広島大) : 広島アジア競技大会のレガシー—スポーツイベントボランティア	441 青島光太郎 (筑波大・学) : 駅広告からみた首都圏鉄道駅の中心機能に関する一考察
13:40	342 岩間信之 (茨城キリスト教大) ほか : 外国にルーツのある子どもたちの成育環境と健康被害の 地理的研究—外国人散在地域を事例として	442 山本卓登 (東京大・院) : ローカルな交通に関する公共政策がなぜ必要なのか
	〈政治・社会〉	
14:00	343 山口 寛 (関西学院大) : 戦時体制下における大手企業への集団就職—東京芝浦電気の少年産業戦士を中心に	443 田中圭介 (国際協力機構) : 新型コロナウイルスが世界の公共交通に与える影響と地理学上の考察
14:20	344 市道寛也 (大阪市立大・院) : 郊外住宅団地という場所性の生成—日本初の公団住宅における住民運動を例に	444 柴田卓巳 (東京大・院) : 短距離交通体系の日韓比較に関する予備的報告
14:40	345 成瀬 厚 (独立研究者) : パラリンピックを契機とした地方におけるバリアフリーなまちづくり—東京2020大会における共生社会ホストタウン	445 後藤 寛 (横浜市立大) : 2001年のカイロ大都市圏における市民の生活様式—海外パーソントリップ調査の社会調査的視点による活用
15:00	346 三浦尚子 (明治大・非常勤) : 疼痛の地理学—「ワラビスタン」を事例に	〈都市・交通〉
15:20	347 中島芽理 (神戸大・院) : アルコール依存症者のライフストーリーにみる「癒しの場所」の変容	446 曹 奕 (大阪大・院) : 大都市圏郊外地域の類型の変遷とその要因—関西大都市圏を事例として
15:40	348 永迫俊郎 (鹿児島大) ほか : コロナ対応からみた徳之島の地誌	447 鈴木勇人 (東京大・学) : 首都圏郊外における墓地立地と規定要因—千葉市内墓地を中心に
16:00	349 久井情在 (国立社会保障・人口問題研) : 「リスケーリング」は日本の地方自治制度に当てはまるか?—地理的スケール概念の再検討	448 島田広之 (大阪大・院) : 大阪府における中古戸建て住宅の活用とその課題
16:20	350 花谷和志 (兵庫県立大・院) : 政治地理学における新たなリスケーリングの展開	449 上杉昌也 (福岡工業大) ほか : ジオデモグラフィクスからみた将来空き家の都市圏比較
16:40		450 初澤敏生 (福島大) : 地方自治体と連携した学生による地域振興構想の試み—福島大学と福島県三春町の実践
17:00		451 松田千優 (佛教大・学) : 食品系工場跡地における都市再開発と地域への影響—兵庫県尼崎市を事例に

第2日目 3月20日（日） 午後

第 5 会 場		開始時刻
<p><水文></p> <p>540 乙幡正喜*（法政大・院）・小寺浩二（法政大）：狭山丘陵の水環境に関する水文地理学的研究—河川源流域の汚染源を中心に（4）</p>		13:00
<p><植生></p> <p>541 梶原拓人（都立大・院）ほか：植栽基盤上のクロマツ海岸防災林に生じた生育不均一性を把握する植生指標の考察</p>		13:20
<p>542 飯田義彦（筑波大）：トチノミの資源利用に影響する大凶作状況の実態把握</p>		13:40
		14:00
		14:20
		14:40
		15:00
		15:20
		15:40
		16:00
		16:20
		16:40
		17:00

第1・2日目 3月19・20日 (土・日)

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月19日(土)9時~16時40分までと3月20日(日)9時~24時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、3月19日(土)12時~13時00分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P001	小野映介(駒澤大)ほか:北海道内浦湾北岸の北黄金貝塚周辺における縄文海進期の環境	P011	幸地佑朔*(琉球大・学)・羽田麻美(琉球大):沖縄島における石灰岩タブレットの野外風化実験
P002	河合貴之(国際航業):宮城県中部,仙台平野において後期更新世に形成された河成段丘被覆層中のクリプトテフラの検出と対比	P012	梶山貴弘(日本大):カラコラム山脈北西部における1967-2020年の氷河面積の変化
P003	山崎 響*(専修大・学)・熊木洋太(専修大):房総半島東岸和泉浦・日在浦における砂州と沿岸流	P013	澤田結基(福山市立大)ほか:高精度DSMによるアースハンモックの微地形分類の試み
P004	徳本直生*(アジア航測)・荻谷愛彦(専修大):立山火山五色ヶ原におけるモレーン状地形の成因に関する再検討	P014	阿子島 功(山形大・名誉):史跡保存管理計画における地形分類図の意義(4) —5m格子DEMの利用と限界
P005	堀 和明(東北大)ほか:コア堆積物の解析にもとづく菊川低地の形成過程	P015	佐藤 浩(日本大)ほか:2018年胆振東部地震で影響を受けた似湾川西岸域における岩盤地すべりの現地調査
P006	西山弘祥(岡山大・院)ほか:マイクログラビティ探査より検出された埋没地形を考慮した菊川低地における完新世の地形発達史と地殻変動	P016	中山大地(都立大):機械学習を用いた三宅島における火山泥流の予測に関する研究
P007	後藤秀昭(広島大):山陰地方西部沖に分布する海底段丘と発達過程	P017	楳原京子(山科大)ほか:南海トラフ地震被害想定地域における集落立地の地形特性—東北地方太平洋沖地震被災地域との比較を通して
P008	近藤玲介(東京大)ほか:四国南西部,足摺岬周辺における海成段丘のpIRIR年代測定	P018	内山琴絵(信州大):令和元年東日本台風における学校の災害対応—長野市立小中学校の状況
P009	石原武志(産業技術総合研):佐賀県唐津平野の浅部地下地質構造と有効熱伝導率分布	P019	大槻涼太(早稲田大・院):福島県郡山市における水害と地域防災活動の地域性に関する考察
P010	鹿島 薫(九州大):九州西岸沿岸湖沼堆積物に保存された完新世におけるイベント堆積層—珪藻・黄金色藻遺骸を用いた台風襲来史復元の試み	P020	伊藤駿吾*(法政大)・山口隆子(法政大):日原鍾乳洞の小気候特性

第1・2日目 3月19・20日（土・日）

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月19日（土）9時～16時40分までと3月20日（日）9時～24時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、3月19日（土）12時～13時00分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P021 千葉 晃（練馬区立石神井西中）：「快適な気温=20.0～24.9℃」の出現頻度が最も多いアメダス地点はどこだろう？探してみよう！	P031 横山 智（名古屋大）ほか：ラオス北部遠隔農村における人口動態と水田所有
P022 松尾 駿（東京学芸大・学）・澤田康徳（東京学芸大）：夏期関東地方における対流性降水の降水強度の時間変化に関する気候学的特徴	P032 澁谷和樹（立教大）ほか：日本版MaaSにおける観光との連携状況について
P023 瀬戸芳一（都立大）ほか：夏季晴天日の関東平野における日中と夜間の局地風系の特徴	P033 市川 聖（島根県大・客員研）：明治期の秋田市における呉服屋の変遷と分布
P024 三浦エリカ*（法政大・学）・小寺浩二（法政大）：石垣島の水環境に関する研究（2）	P034 栗林 梓（東京大・院）：1990年以降の大学進学移動の変化—地方圏内部での大学進学移動に関する仮説生成
P025 蓑島 誠*（法政大・学）・小寺浩二（法政大）：北海道・常呂川の水質に与える人為的影響（2）	P035 小本修司（大阪市立大・院）：類型化手法による国勢調査と住民基本台帳の差異の分析—大阪市の年齢階級別小地域単位のデータを基に
P026 黒田春菜*（法政大・学）・小寺浩二（法政大）：猪苗代湖集水域の水循環に伴う物質収支に関する研究—中性化問題に焦点をあてて（4）	P036 小坪将輝*（東北大・院）・中谷友樹（東北大）：コロナ禍における東京都都区からの転出者分布パターンの変化
P027 河野 忠*・渡来 靖（立正大）：山形県朝日町「浮島大沼」における浮島現象の研究	P037 鈴木修斗（筑波大・学振DC）：SNSデータからみた「移住」の表象とその特徴—現代日本における「移住」概念の整理にむけて
P028 今井あやめ*（駒澤大・学）・鈴木秀和（駒沢大）：沖縄島南部における湧水の集水域の地質および土地利用条件が水質に与える影響	P038 松本健佑（大阪大・学）：地方選挙との同日選挙が国政選挙の投票率に与える影響の分析
P029 木澤 遼*（横浜国立大・院）ほか：利尻岳西向き斜面における40年間の森林限界の変化	P039 菅原考史（京都市大・院）：シンガポール総選挙における選挙区割と集団選挙区—2020年総選挙におけるセンカン集団選挙区を事例に
P030 西倉瀬里*（都立大・院）・川東正幸（都立大）：堆積環境による干拓地土壌の特徴づけ	P040 大西啓太郎（ソフトママ）ほか：統合情報評価手法による持続可能な地域社会モデルの創出—三重県大台町を事例とした調査研究の状況

第1・2日目 3月19・20日（土・日）

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月19日（土）9時～16時40分までと3月20日（日）9時～24時まで、ポスター会場で行います。発表者による説明は、3月19日（土）12時～13時00分の間に行われますので、多くの会員の参加を希望します。

P041	岩井祐太（大阪大・学）：医療機関の状況を考慮した医療アクセシビリティの分析	P051	櫛引素夫（青森大）：新幹線駅エリアの「メディア化」が持つ地理学的な可能性と課題・第3報—道南・青森エリアの交流とオンライン社会への対応
P042	坂本淳二*（摂南大）・森口知樹（摂南大・学）：「生産緑地2022年問題」に対応した都市農地制度についての農地所有者への意向調査—京都府八幡市を対象に	P052	岩谷恭弥（立正大・院）：福井県若狭地域における交通システムの変化と特徴
P043	勝又悠太郎*（広島大）・堀本一樹（広島大・院）：インドにおける新型コロナウイルス（COVID-19）感染の空間的特徴（第3報）	P053	任 凌云（大阪大・院）：中国・陝北地方における20世紀中期以降の農牧業・土地利用の変化
P044	澤田康徳（東京学芸大）ほか：身近な自然環境調査に関する全国発表会の生徒と教員の所感および調査活動の継続性—GLOBEプログラムを事例として	P054	嶋本貴瑛（都留文科大・院）：農産物の地域ブランド化研究の成果と展望
P045	松岡 農（芝浦工業大柏中高）：中学校段階における「対話的な防災教育」の検討	P055	畑中健一郎（長野県環境保全研）ほか：過疎地域における自然環境の保全・活用に関する住民意識—長野県開田高原の事例
P046	伊藤直之（鳴門教育大）：社会正義を志向したジオ・テイパビリティーズ・プロジェクト第3段階の動向—欧州の学校教師の活動に焦点を当てて	P056	浦山佳恵（長野県環境保全研）ほか：長野県開田高原における木曾馬文化を活用した草地保全の取組み
P047	松多信尚*（岡山大）・陳 侃（岡山大・院）：日中台の小中学校における防災教育の差異・変化と現場の課題	P057	佐賀達矢（岐阜県立多治見高）ほか：高校生の昆虫食の捉え方と試食を伴う講義の効果
P048	谷 謙二（埼玉大）：1990年代後半以降の東京都心部における居住・就業機能の変化	P058	中條暁仁（静岡大）：石川県能登地域における寺院の担い手と存続可能性
P049	新井健生（駒澤大・院）：桐生市中心市街地のフードデザートにおける買い物行動—高齢者の移動手段に着目して		
P050	山本健太*（國學院大）・申 知燕（早稲田大）：東京におけるヘアサロンの立地と街の特性		